



全日畜だより

第 51 号

2022 年 6 月 17 日

<https://www.alpa.or.jp/>

第 14 回 定時 社員 総会 報告

- ◎ 開催日時: 令和 4 年 6 月 16 日
- ◎ 新型コロナウイルス感染症の感染状況や、当協会の社員の皆様(生産者)の現状を勘察した結果、本年の定時社員総会も書面での総会となりました。
- ◎ 議案は、令和3年度の事業報告、決算、令和4年度の事業計画、収支予算、会費で、社員全員の同意を得て、成立いたしました。

事業報告、決算、事業計画、予算の概要

◎ 令和3年度事業報告

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症まん延の中で、秋の小康状態期間を捉えてJRA畜産振興事業、alic 調査事業などを実施し、ほぼ計画どおりの事業執行ができました。

◎ 令和3年度の決算報告

一般会計は、令和2年度に比べ、現地調査等が可能な場合が多くなったため、徐々に対面での活動が増加するとともに、サイバーセキュリティの強化などを行い、一方で、工業会のご配慮で事務所を工業会事務所内の一角に移転するなどしたことが、決算に反映されました。

特別会計は、JRA 事業、alic 事業ともに計画どおり予算が執行されました。

監事監査は5月17日に終了し、適正に処理されていると確認いただきました。

◎ 令和4年度の事業計画

今年度は with コロナの時代に合わせて臨機応変に対応し、感染防止対策を十分取りながら、Web 会議方式などを併用しながら、商系畜産経営者への支援を基本として全日畜活動を徐々にコロナ以前に戻して事業を進めることとしました。畜産振興事業では、新たにJRA畜産振興事業の「多角化による畜産経営強化調査事業」を実施し、「農畜連携による畜産経営の強化事業」とともに生産者に有用な情報を提供すべく取り組むことといたしました。

また、要請事業、広報事業、地方全日畜、全日基、各県基金協会との連携も前年同様に取り組むこととしました。また、工業会との連携については、昨年より工業会が実施している研修事業のパネルディスカッションに今後共催していくこととしました。

◎ 会費等についても令和3年度と同様となりました。

令和4年度 第1回理事会を開催



(工業会会議室をホスト会議室としたWEB開催)

◎ 開催日時: 令和4年5月18日(水)(13:30~14:55)

◎ 主な内容は、令和3年度の事業報告、決算書類、令和4年度の事業予算、収支予算、会員の会費など、第14回定時社員総会議案の審議と、今年度の運営委員の任命等でした。

◎ 概要

令和3年度の事業報告、決算書類、令和4年度の事業予算、収支予算、会員の会費などは、総会資料と同様で、それぞれ承認されました。

また、令和4年度の運営委員会委員についても承認されました。

◎ 理事意見

現場の生産者に全日畜の活動が十分伝わっているのかどうかわかりにくい。ホームページなどの閲覧件数も多いとは言えない。新型コロナにより、まだ、対面の活動が十分できない中で、もっと、全日畜からの情報を会員に確実に伝え、会員の意見が国会や行政府に伝わるような工夫が今後必要であるという意見が複数の理事から出ました。

・ これに対しては、まず、ホームページを見やすくし、ホームページ上で探しにくくなっている各事業で出した手引きやマニュアル等が検索しやすくできるようにホームページの改良を行っています。

令和4年度 第1回運営委員会を開催



(全日基会議室をホスト会議室としたWEB開催)

- ◎ 開催日時: 令和4年5月11日(水)(13:30~14:30)
- ◎ 主な内容は、主に令和3年度の事業報告、決算書類、令和4年度の事業予算、収支予算など第14回の定時社員総会議案の審議でした。

◎ 概 要

第14回の定時社員総会議案については、令和3年度の事業報告、決算書類、令和4年度の事業予算、収支予算など特に異論なくそれぞれ承認され、理事会に掛けることになりました。



(文中での団体の略称標記について)

- 全日畜：一般社団法人 全日本畜産経営者協会
- 全日基：一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金
- 工業会：協同組合 日本飼料工業会
- 〇〇県基金協会：一般社団法人 都道府県配合飼料価格安定基金協会

畜産生産者の声を農林水産省幹部に伝え、「原油価格物価高騰等総合緊急対策」への反映を要請しました！



(農林水産省畜産局会議室にて、金子理事長、鶴菌理事が生産者の実情を説明)

- ◎ 日 時: 令和4年4月11日(13:30~15:00)
- ◎ 場 所: 農林水産省畜産局会議室
- ◎ 出席者: 農林水産省: 畜産局飼料課富澤課長、同姫野流通飼料対策室長ほか2名
全 日 畜 : 金子春雄理事長、鶴菌眞佐彦理事、鈴木一郎常務理事

◎ 概 要

配合飼料価格の高騰や、輸入粗飼料の価格上昇、さらには入手困難により受けている大きな影響などを、実際の生産者の立場から農林水産省幹部に説明し、コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」に、これら生産者の声を反映してもらえるよう陳情しました。

情 報: 農林水産省が「生産資材・原材料高騰下における農林水産政策に関する地方説明会」を開催します

- ◎ 農林漁業者、食品事業者、関係団体(農業、林業、水産業、食品産業等)、行政担当者など、幅広い関係者を対象に農林水産本省をはじめとした10ブロックで今回の緊急対策の説明会を開催し参加者を募集しています。WEB 傍聴も可能です。
- ◎ 申込みは以下の URL からできます。
<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/tiho/220614.html>